

M 緊急対応業務 個別業務仕様書

1 業務の概要

対象施設の建築物等の不具合について、施設や乙から通報を受け、必要に応じ現地確認、応急対応等の対応を速やかに行う。

2 業務内容

(1) 緊急対応体制の整備

乙は、市監督員又は対象施設勤務者からの建築物及び設備等の破損又は故障等の不具合の通報（以下、「不具合の通報」という。）を24時間365日受けることが可能な窓口を設置するとともに、次の（2）から（4）までに定める緊急対応体制を整備する。また、契約後直ちに緊急対応フロー図を作成し、甲の承認を得ること。承認後は施設に通知を行い、周知すること。

(2) 不具合通報受付・現地確認

ア 乙は、不具合の通報を受けた場合は、当該不具合の状況を確認し、原因を特定するため、速やかに業務従事者（各種点検業務再委託先の業務従事者を含む）を派遣するものとする。ただし、市監督員又は、施設管理者又は施設管理者不在時にその職務を代理する者（以下、「施設管理者等」という。）に、業務従事者を派遣しないことについて承諾を得た場合は、この限りでない。

イ 業務従事者を派遣するにあたっては、現地到着時間と対応者等について施設管理者等へ報告のうえ、立会い等について調整を行うこと。

ウ 上記にかかわらず、人命に関わる事態、停電、断水、その他緊急事態が生じている場合は、直ちに業務従事者を現地に派遣する。

エ 必要に応じ、施設管理者等に事故防止のための応急対応・応急処置について指示・指導・助言を行うこと。

(3) 不具合対応

ア 業務従事者による状況確認の結果、業務従事者の軽補修等（以下の（ア）から（コ）の内容を指す。）により当分の間、破損又は故障した施設、設備等の機能が維持できる場合には、施設管理者等に報告のうえ、補修を行うものとする。ただし、軽微な補修により難いと認める場合は、市監督員に報告のうえ、その指示に従うものとする。

（ア）汚れ、詰まり、付着等がある部品の清掃

（イ）取付け不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整

（ウ）ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増締め

（エ）潤滑油、グリス、充填油等の補充

（オ）接触部分、回転部分等への注油

- (力) 軽微な損傷がある部分の補修（部品交換を除く。）
- (キ) 軽微な塗装（タッチペイント程度）
- (ク) 給排水設備に関連するパッキン類の交換
- (ケ) 屋上の排水溝周りの清掃、防水の簡易補修（シーリング程度）
- (コ) その他これらに類する軽微な作業に必要なもの

イ 機器等の不具合が発生し、業務従事者では不具合の原因を特定できない場合は、原則として当該設備等の製造者又は納入者の作業員等を派遣し、不具合原因の特定に当たらせるものとする。派遣にあたり費用が必要となる場合には、甲乙協議の上、対応を決定する。

ウ 上記ア、イの対応をとっても不具合が解消しない場合、乙は修繕を行うかどうかの判断を行い、「(4) 報告」のとおり甲へ報告を行う。

(4) 報告

ア (3) の内容については、「作業内容報告書」として速やかに市監督員に提出する。

イ 不具合については、下表の判定基準に沿って統一的に 5 段階の判定を行うこと。

判定	内容	判定基準
A	問題無し	健全であり、修繕の必要がない
B	経過観察	現時点で直ちに修繕する必要はないが、劣化等の進行について経過観察が必要
C	要詳細調査	専門業者による詳細な調査が必要
D	要修繕	機能上の支障が生じており修繕が必要な状態
E	即対応	法令違反状態、重大事故が発生するおそれのある状態

3 留意事項

- (1) 災害及び事故等が発生した場合は、人命の安全確保を優先し、適切な措置をとるとともに、二次災害の防止に努めること。なお、経緯等については、対応後に甲に報告するものとする。
- (2) 本仕様書に係る費用は、乙の負担とする。ただし、天災や災害に関わる対応費については別途甲乙協議を行う。